

社会（地歴・公民）科

I 社会（地歴・公民）科の学習目標

◆地理・歴史分野

- (1) 我が国及び世界の形成と歴史的過程について理解と認識を深める。
- (2) 我が国及び世界の生活と文化の地域的特色について理解と認識を深める。
- (3) 地理や歴史を学習することを通して、多角的・多面的な思考力を培い国際社会に主体的に生きる力を養う。
- (4) 民主的、平和的な国家・社会の一員として、必要な自覚と資質を養う。

◆公民分野

- (5) 広い視野に立って、現代社会について主体的に考察し、理解を深める。
- (6) 人間として望ましい在り方について学び、主体的に意義ある人生を送れるようにする。
- (7) 民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者をめざす。
- (8) 政治的教養を高め、個人の尊厳を重んじ人格の完成をめざす実践的意欲を培う。

II 社会（地歴・公民）科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	<ul style="list-style-type: none"> ◆地理分野 ・世界の姿 ・世界各地の人々の生活と環境 ・世界の諸地域 ◆歴史 ・原始と古代の日本 ・中世の日本 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsを意識した課題解決型の授業の展開（貧困と教育、環境問題と経済成長など）。 ・日本と世界とのつながりを意識したテーマ型の討論・探究活動の展開 ・総合「上野・浅草」探究 ・世界のさまざまな地域の調査 ・歴史討論 ・ノートの作り方指導
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ◆地理分野 ・日本の姿 ・世界と比べた日本の地域的特色 ・日本の諸地域 ・身近な地域の調査 ◆歴史 ・中世の日本 ・近世の日本 ・近代の日本と世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな世界地図からとらえる世界の認識。 ・地形図、ハザードマップを活用し地域の防災についての課題解決型授業。 ・日本の領域と領土問題についての探究活動。 ・日本に視点をおいたSDGsを意識した課題解決型の授業の展開。 ・言語能力を高める活動を入れた歴史学習(時代考証スピーチ)・歴史討論
	3年	<ul style="list-style-type: none"> ◆歴史 ・近代の日本と世界 ・二度の世界大戦と日本 ◆公民 ・現代社会 ・人権の尊重と日本国憲法 ・国民主権と民主政治 ・私たちのくらしと経済・国際社会 	<ul style="list-style-type: none"> ・史資料の読解 ・写真資料の読み取り ・地図の読み取り ・協同的論述課題学習 ・高校1年次「歴史総合」の内容を一部先取り一体的に指導 ・社会問題についての討論 ・時事問題 ・高校2年次「公共」の内容を一部先取り一体的に指導
高校段階	4年	《地理総合》【全員必修】 ・地図と地理情報システム活用（GIS） ・国際理解と国際協力 ・防災と持続可能な社会の構築（ESD） 《歴史総合》【全員必修】 「歴史の扉」、「近代化と私たち」、「国際秩序の変化や大衆化と私たち」、そして「グローバル化と私たち」の4項目から近現代の歴史を考察	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試問題の活用 ・図・表・写真資料の読み取り ・主体的、実践的な課題解決能力の育成
	5年	《地理探究》 系統地理的考察 《世界史探究》 近代ヨーロッパの成立～帝国主義とアジアの民族運動 《日本史探究》日本文化のあけぼの～武家社会の成長 《公共》「公共の扉」、「自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」、「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」の項目ごとに現代社会の諸課題を捉え、他者との議論を通じて多面的・多角的に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・世界史の中の日本史の展開 ・史資料の読解 ・地図の読み取り ・写真資料の読み取り
	6年	《地理探究》【文系必修選択】世界の地形、世界の諸地域 《世界史探究》【文系必修選択】 諸地域世界の交流～アジア諸地域の動揺 《日本史探究》【文系必修選択】 日本文化のあけぼの～幕藩体制の動揺 《地理探究》《世界史探究》《日本史探究》【自由選択】 共通テスト問題演習（地歴・公民科2科目目選択者用） 《政治経済》【文系理系共通履修】 民主政治の基本原則～現代社会の諸課題 《政治経済》【文系理系自由選択】共通テスト問題演習 《倫理》【文系理系自由選択】現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方、現代の諸課題と倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試問題を活用した図・表・写真資料などの深い読み取り ・多面的、多角的な思考方法と社会的な見方、考え方 ・持続可能な社会を形成する個人としての社会参画意識

* 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 社会科
 科目名 地理・歴史
 対象 1学年全員

I 学習到達目標

- 1 社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、日本の国土と歴史に対する理解を深める。
- 2 様々な資料を適切に活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断するとともに、適切に表現する能力や態度を身につける。
- 3 各時代の特色を世界の歴史を背景に理解し、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って見る力を養う。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 一斉授業
- 2 グループワーク
- 3 討論

III 教科書・補助教材

教科書 (地理的分野)「新しい社会 地理」東京書籍 (歴史的分野)「中学歴史 日本と世界」山川出版社
 (地図帳)「中学校社会科地図」帝国書院
 副教材「アドバンス中学地理資料東京都版」帝国書院 「グラフィックワイド歴史」東京法令出版
 「中学必修テキスト地理」文理 「新中学問題集 歴史I」教育開発出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容			授業 時数	備 考
		考 査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	4	1 学期 中 間 考 査	◆地理的分野 世界の姿 P6～19	◆歴史的分野 第1章歴史との対話 P5～9	◆地理的分野 アドバンス P2～13 必修テキスト P4～15 ◆歴史 グラフィックワイドp2～35 Iワークp4～15	28
	5		・地球の姿を見てみよう ・世界のさまざまな国々 ・地球上の位置を表そう ・地球儀と世界地図を比べてみよう	第2章古代までの日本 1節世界の諸文明 P16～25		
	6	1 学期 期 末 考 査	日本の姿 P20～32 世界各地の人々と生活と環境 P34～53	2節日本文化のあけぼの P28～35	◆地理的分野 アドバンス P14～45 必修テキスト P16～41 ◆歴史 グラフィックワイドp36～45 Iワークp16～33	32
	7					
	夏休み 宿 題		税の作文			
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	世界の諸地域 ・アジア州 P58～73	3節律令国家の成立 P36～44	◆地理的分野 アドバンス P46～69 必修テキスト P42～55 ◆歴史 グラフィックワイドp46～65 Iワークp34～57	25
	10			4節貴族政治と国風文化 P50～55		
	10	2 学期 期 末 考 査	世界の諸地域 ・ヨーロッパ州 P74～87	第3章中世の日本 第1節中世社会の成立 P64～75	◆地理的分野 アドバンス P70～85 必修テキスト P56～71 ◆歴史 グラフィックワイドp66～77 Iワークp58～69	35
	11		・アフリカ州 P88～99			
	冬休み 宿 題 宿 題 テ ス ト					
三 学 期	1	3 学期 学 年 末 考 査	世界の諸地域 ・北アメリカ州 P100～113	2節武家社会の成長 P82～99	◆地理的分野 アドバンス P86～98 必修テキスト P72～93 ◆歴史 グラフィックワイドp78～93 Iワークp70～99	36
	2		・南アメリカ州 P116～125 ・オセアニア州 P126～139			
					156	
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、社会的事象、資料活用についての「知識・技能」、社会的な「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」、の3つの観点から総合的に評価を行う。 ① 定期考査（各学期、年間5回） ② 確認テスト（単元に対応） ③ 提出物（宿題、ノート、課題プリント）					

教科名 社会科
 科目名 地理・歴史
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

- 1 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとの関わりで捉え、環境条件や人間の営みなどと関連づけて考察し、地域的特色を捉えるための視点や方法を身に付けるとともに、地方的特殊性と一般的共通性は諸条件の変化などに伴って変容していることを理解する。
- 2 様々な資料を適切に活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断するとともに、適切に表現する能力や態度を身につける。
- 3 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解し、わが国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもち、国際協調の精神を養う。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 一斉授業 2 グループワーク 3 討論

III 教科書・補助教材

教科書（地理的分野）「新しい社会 地理」東京書籍（歴史的分野）「中学歴史 日本と世界」山川出版社
 （地図帳）「中学校社会科地図」帝国書院
 副教材（地理的分野）「アドバンス中学地理資料」帝国書院 「中学必修テキスト地理」文理
 （歴史的分野）「グラフィックワイド 歴史」東京法令 「iワーク歴史」育伸社

IV 学習計画

	月	学 習 内 容		授業時	備考		
		考 査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容	
一学期	4 5	1学期 中間 考 査	◆地理的分野 第1章 地域調査の手法 P140～155 第2章 日本の地域的特色 第1節地形から見た日本の特色 P158～161 第2節気候から見た日本の特色 P162～163 第3節自然災害と防災・減災への 取り組みP164～167	◆歴史的分野 第4章 近世の日本 第2節近世社会の成立 P112～119 第3節幕藩体制の確立 P120～127	◆地理 アドバンス P102～109 必修テキスト P142～113 ◆歴史 安土桃山時代・江戸時代 P94～111	19	2年生総合テーマ「国内の地域間の違いを知る」の進行と関連付けながら多少の分野の入れ替えを行う。
	6 7	1学期 期末 考 査	第4節人口から見た日本の特色 P168～169 第5節資源・エネルギーから見た 日本の特色 P170～172 第6節産業から見た日本の特色 P172～173 第7節交通・通信から見た 日本の特色P174～175	第4節幕藩体制の展開 P128～133 第5節幕藩体制の動揺 P136～147	◆地理 アドバンス P110～137 必修テキスト P114～125 ◆歴史 江戸時代 P112～132	32	
	夏休み 宿 題		身近な地域調査（防災）、歴史に関するレポート				
二学期	9 10	2学期 中間 考 査	日本の諸地域 第1節 九州地方 P186～196 第2節 中国・四国地方 P197～208	第5章近代の日本と国際関係 第1節 欧米諸国の近代化と 日本への接近 P156～165	◆地理 アドバンス P138～151 必修テキスト P126～137 ◆歴史 世界・近世P133～140	30	日本人の生活や生活に社会の動き及び各地域の地理的条件、身近な地域の歴史とも関連付けて指導する。博物館等の見学・調査を通じて、生活文化の展開を具体的に学ぶ事ができるようにする。
	10 11 12	2学期 期末 考 査	第3節 近畿地方 P209～220 第4節 中部地方 P221～232 第5節 関東地方 P233～244	第2節 開国と幕末の動乱 P166～171 第3節 立憲国家への道 P172～189	◆地理 アドバンス P152～175 必修テキスト P138～155 ◆歴史 江戸・明治時代P141～155	39	
	冬休み 宿 題						
三学期	1 2 3	3学期 学年末 考 査	第6節 東北地方 P245～256 第7節 北海道地方 P257～268 第4章 地域のあり方 ・身近な地域調査 P270～281 (地形図の使い方を含む)	第4節 日清・日露戦争と アジア P190～199 第5節 近代日本の産業と 文化 P202～209	◆地理 アドバンス P176～199 必修テキスト P156～167 ◆歴史 P156～171	36	
						156	
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査（各学期、年間5回）、 ②提出物（宿題・ノート、課題プリント） ③学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）						

教科名 社会科
 科目名 公民・歴史
 対象 3学年全員

I 学習到達目標

- 1 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、平和で民主的な国家社会の形成者として必要な基礎的教養を培う。
- 2 民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり及び現代の社会生活などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。
- 3 国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させると共に、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。
- 4 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確に捉え、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。
- 5 現代史の内容を織り交ぜ、歴史的経緯を理解させる。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 一斉授業 2 グループワーク 3 討論

III 教科書・補助教材

教科書 (公民的分野) 「中学社会公民的分野」 日本文教出版 (歴史的分野) 「中学歴史 日本と世界」 山川出版社
 副教材 (公民的分野) 「新しい公民」 浜島書店 (歴史的分野) 「グラフィックワイド歴史」とうほう
 「新中学問題集 公民3年」 教育開発出版 「新中学問題集 歴史II」 教育開発出版
 「3年間の総整理問題集 社会」 正進社

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容			授業時 数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容			
一 学 期	4	1 学期 中 間 考 査	◆公民的分野 第1編 私たちと現代社会 第1節 私たちが生きる現代 社会の特色 第2節 現代社会の文化と私 たち P8-22	◆歴史的分野 第5章 近代の日本と国際関係 3節 立憲国家への道	22	◆「総整理問題集」P6-17 ◆公民 「公民資料」P10-29 「問題集」P42-45 ◆歴史 「問題集」P52-63	
	6		第3節 現代社会の見方・ 考え方 P24-32 第2編 第1章 私たちの生活と政治 第1節 法に基づく政治と日本国 憲法 第2節 日本国憲法と基本的人権 P36-69	4節 日清・日露戦争とアジア 5節 近代日本の産業と文化			35
	7	課題「総整理問題集」		◆社会科課題 「総整理問題集」P38-69			
	夏休 み						
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	第2編 第2章 私たちの生活と政治 第1節 民主政治と政治参加 第2節 国の政治のしくみ P78-107	第6章 二つの世界大戦と日本 1節 第一次世界大戦と日本 2節 国際協調の崩壊	36	◆「総整理問題集」P70-81 ◆公民 「公民資料」P62-87 「問題集」P68-102 ◆歴史 「問題集」P80-87	
	10		第3節 地方自治 第3編 私たちの生活と経済 第1節 経済のしくみと消費 P108-134	3節 第2次世界大戦と日本			33
	11	課題「総整理問題集」		◆「総整理問題集」 P98-117			
冬休 み							
三 学 期	1	3 学期 学 年 末 考 査	第2節 生産の場としての企業 第4節 財政と国民の福祉 P136-153, P160-174	第7章 現代の日本と世界 1節 戦後の日本と国際社会 2節 新たな時代の日本と世界	20	◆「総整理問題集」 P118-137 ◆公民 「公民資料」P102-117, 122-141 「問題集」P133-165 ◆歴史 「問題集」P100-109	
	2						
	3						
					156		
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査(各学期、年間5回)、②提出物(宿題・ノート、課題プリント) ③学習の様子(授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等)						

教科名 地歴・公民科
 科目名 **地理総合** (必修2単位)
 対象 4学年全員

I 学習到達目標

- 1 世界の自然環境の学習を通じて、環境と人間との関係性について考察する力を身につける。
- 2 世界で展開される人文・社会現象の学習を通じて、人類が築いてきた多様な文化と社会を考察する力を身につける。
- 3 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 教科書に準じた授業シート (ClassNotebook) を中心に、プロジェクト資料や板書を併用しながら授業をすすめていく。
- 2 振り返りシート (forms) を活用し自己調整を行い、定期的に生徒の到達度を確認しながら、授業を進めていく。
- 3 「考えること」を重視しつつ、基礎学力を確実に身につけ、知的好奇心を高める主体的・対話的で深い学びを展開する。

III 教科書・補助教材

教科書	「わたしたちの地理総合」 二宮書店	「新詳高等地図」 帝国書院
補助教材	「地理統計Plus」 帝国書院	新詳地理資料「COMPLETE 2023」 帝国書院

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題				
	4	1 学期 中 間 考 査	第1章 地図とGISの活用 P10～38	新詳地理資料「COMPLETE」 P4～11 「地理統計Plus」 帝国書院	12
	5				
	6	1 学期 期 末 考 査	第2章 生活文化の多様性と国際理解 1節 自然環境と生活文化 P40～67 2節 産業の発展と生活文化 P68～87	新詳地理資料「COMPLETE」 P12～69 P86～157 「地理統計Plus」 帝国書院	18
7					
	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	1 学期の復習 地形図の読み取り		
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	第2章 生活文化の多様性と国際理解 3節 言語・宗教と生活文化 P88～109 4節 グローバル化の進展と生活文化 P110～124	新詳地理資料「COMPLETE」 P214～221 P184～195 「地理統計Plus」 帝国書院	14
	10				
	10 11	2 学期 期 末 考 査	第3章 地球的課題と国際協力 P128～166	新詳地理資料「COMPLETE」 P76～85 P130～145 P196～201 「地理統計Plus」 帝国書院	18
	冬休み 宿 題	宿 題 テスト			
三 学 期	1	3 学期 学 年 末 考 査	第4章 生活圏の諸課題 P170～205	新詳地理資料「COMPLETE」 P70～75 「地理統計Plus」 帝国書院	16
	2				
				計 78 (2単位)	
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期期末考查の得点と課題 (teams)、振り返りシート (forms) を評価の対象とする。 ・評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価 (ABC) と5段階の評定によって行う。 ・評価物はいずれも上記の観点別評価で行う。 				

教科名 地歴科
 科目名 **歴史総合** (必修2単位)
 対象 4学年全員

I 学習到達目標

- 1 18～19世紀、ヨーロッパや日本を中心に、どのように近代化したのか理解し、その特徴や差異を理解する。
- 2 二度の世界大戦は世界にどのような影響を及ぼしたのか、様々な視点から捉え理解する。
- 3 戦後の国際体制ではどのような課題があるか発見し、様々な視点から解決策を考える。
- 4 様々な資料をもとに、歴史を深く考察し、意見を共有しながら学びを深める。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 授業プリントを用いて知識を整理し、そこから自分の考えを書き、意見交換を行う。
- 2 必要に応じて発問や課題、小テスト、ノート提出などを求め、生徒の理解の定着を確認しつつ、授業を進めていく。
- 3 「考えること」を重視しつつ、確実な基礎学力を身につけ、知的欲求を啓発できるよう双方向対話型授業を展開する。

III 教科書・補助教材

教科書 「歴史総合 近代から現代へ」 山川出版社
 補助教材 「問いからはじまる歴史総合」 とうほう
 「高校新演習 スタンダード 歴史総合」 エデュケーションナルネットワーク

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	4	1学期 中 間 考 査	第I部 近代化と私たち 第1章 結びつく世界 p24～30	「問いからはじまる歴史総合」 P4～81	12
	5		第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 p36～59		
	6	1学期 期 末 考 査	第3章 明治維新と日本の立憲体制 p66～74 第4章 帝国主義の展開とアジア p78～97	「問いからはじまる歴史総合」 P60～P117	18
7	第II部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会				
	夏休み 宿 題	宿 題 テ ス ト			
二 学 期	9	2学期 中 間 考 査	第6章 経済危機と第二次世界大戦	「問いからはじまる歴史総合」 P118～137	14
	10				
	10	2学期 期 末 考 査	第7章 戦後の国際秩序と日本の改革 第III部 グローバル化と私たち 第8章 冷戦と世界経済	「問いからはじまる歴史総合」 P134～153	18
11					
	冬休み 宿 題	宿 題 テ ス ト			
三 学 期	1	3学期 学 年 末 考 査	第9章 グローバル化する世界 第10章 現代の課題	「問いからはじまる歴史総合」 P154～207	16
	2				
				計 78 (2単位)	
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期期末考査の得点と、プリント、その他課題を評価の対象とする。 ・評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価(ABC)と5段階の評定によって行う。 ・評価物はいずれも上記の観点別評価で行う。 				

教科名 地歴科
 科目名 日本史探究 (必修選択 2 単位)
 対象 5 学年選択者

I 学習到達目標

- 1 原始・古代から中世前期までの日本史を学習し、歴史的な見方・考え方を身につける。
- 2 史資料の読み取りや問いに対する論述に取り組むことで、日本史を多面的・多角的に考察する姿勢や表現力を養う。
- 3 地理的・世界史的な分析を進めることで、日本と世界との関わりについて理解や考察を深める。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 教科書に準じたプリントを中心に、プロジェクト資料や板書を併用しながら授業をすすめていく。
- 2 必要に応じて発問や課題、ノート提出などを求め、生徒の理解の定着を確認しつつ、授業を進めていく。
- 3 探究課題については、小グループによる協同学習などを行う。

III 教科書・補助教材

教科書：『詳説 日本史B』 (山川出版社)
 副教材：『新詳 日本史』 (浜島書店)、『詳録 新日本史史料集成』 (第一学習社)、『日本史B用語集』 (山川出版社)、
 『日本史重要語句チェックリスト』 (啓隆社)

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題				
	4	1 学期 中 間 考 査	第1章 日本文化のあけぼの 1 文化の始まり 2 農耕社会の成立	各教材の該当範囲	12
	5		第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開		
6	1 学期 期 末 考 査	2 飛鳥の朝廷	各教材の該当範囲	18	
7		第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容			
二 学 期	夏休み 宿 題 テ ス ト				
	9	2 学期 中 間 考 査	第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士	各教材の該当範囲	14
	10		第5章 院政と武士の躍進 1 院政の始まり 2 院政と平氏政権		
10	2 学期 期 末 考 査	第6章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立	各教材の該当範囲	18	
11					
三 学 期	冬休み 宿 題 テ ス ト				
	1	3 学期 学 年 末 考 査	2 武士の社会 3 モンゴル襲来と幕府の衰退 4 鎌倉文化	各教材の該当範囲	16
2					
				計 78 (2単位)	
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期期末考査の得点とノート、プリント、その他課題の提出状況を評価の対象とする。 ・評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価 (A B C) と 5 段階の評定によって行う。 ・評価物はいずれも上記の観点別評価で行う。 				

教科名 地歴科
 科目名 **世界史探究** (必修選択2単位)
 対象 5学年選択者

I 学習到達目標

- 1 原始・古代から中世前期までの日本史を学習し、歴史的な見方・考え方を身につける。
- 2 史資料の読み取りや問いに対する論述に取り組むことで、日本史を多面的・多角的に考察する姿勢や表現力を養う。
- 3 地理的・世界史的な分析を進めることで、日本と世界との関わりについて理解や考察を深める。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 教科書に準じたプリントを中心に、プロジェクト資料や板書を併用しながら授業をすすめていく。
- 2 必要に応じて発問や課題、ノート提出などを求め、生徒の理解の定着を確認しつつ、授業を進めていく。
- 3 歴史総合で培った基礎力を演習や諸課題に生かす実践力を重視し、知的欲求を啓発できるよう双方向対話型授業を展開する。

III 教科書・補助教材

教科書：『詳説世界史B』（山川出版社）
 副教材：『最新世界史図説タペストリー』（帝国書院）、『世界史Bマスター問題集』（山川出版社）、
 『世界史用語集』（山川出版社）

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題				
	4 5	1 学期 中 間 考 査	第1章 文明の成立と古代文明の特質 1 文明の誕生 2 古代オリエント文明とその周辺 3 南アジアの古代文明 p18~30	・最新世界史図説タペストリー ・世界史Bマスター問題集 ・世界史用語集 それぞれの該当範囲	12
	6 7	1 学期 期 末 考 査	4 中国の古代文明 5 南北アメリカ文明 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 1 中央ユーラシアー草原とオアシスの世界 2 秦・漢帝国 3 中国の動乱と変容 4 東アジア文化圏の形成 p30~53	・最新世界史図説タペストリー ・世界史Bマスター問題集 ・世界史用語集 それぞれの該当範囲	18
	夏休み 宿 題	宿 題 テスト			
二 学 期	9 10	2 学期 中 間 考 査	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 1 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の成立 3 東南アジア世界の形成と展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 1 イラン諸国家の攻防とイラン文明 p54~65	・最新世界史図説タペストリー ・世界史Bマスター問題集 ・世界史用語集 それぞれの該当範囲	14
	10 11	2 学期 期 末 考 査	2 ギリシア人の都市国家 3 ローマと地中海支配 4 キリスト教の成立と発展 p66~84	・最新世界史図説タペストリー ・世界史Bマスター問題集 ・世界史用語集 それぞれの該当範囲	18
	冬休み 宿 題	宿 題 テスト			
三 学 期	1 2	3 学期 学 年 末 考 査	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2 ヨーロッパ世界の形成 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 1 イスラーム教の諸地域への伝播 2 西アジアの動向 p85~116	・最新世界史図説タペストリー ・世界史Bマスター問題集 ・世界史用語集 それぞれの該当範囲	16
				計 78 (2単位)	
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期期末考査の得点とノート、プリント、その他課題の提出状況を評価の対象とする。 ・評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価（ABC）と5段階の評定によって行う。 ・評価物はいずれも上記の観点別評価で行う。 				

教科名 地歴科
 科目名 **地理探究** (必修選択 2 単位)
 対象 5 学年選択者

I 学習到達目標

- 1 地理的な諸事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の要因を捉えることにより、現代世界の諸事象の地理的認識と系統地理的な考察の手法を身につける。
- 2 諸地域の地域性と諸課題を捉える学習を通して現代世界の諸地域を地誌的に考察する方法を身につける。
- 3 持続可能な国土像を探究する。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 教科書に準じたプリントを中心に、プロジェクト資料や板書を併用しながら授業をすすめていく。
- 2 必要に応じて発問や課題、小テスト、ノート提出などを求め、生徒の理解の定着を確認しつつ、授業を進めていく。
- 3 地理総合で培った基礎力を演習や諸課題に生かす実践力を重視し、知的欲求を啓発できるよう双方向対話型授業を展開する。

III 教科書・補助教材

教科書 「地理探究」 二宮書店 「新詳高等地図」 帝国書院
 補助教材 「地理統計Plus」 帝国書院 新詳地理資料「COMPLETE 2022」 帝国書院

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題				
	4 5	1 学期 中 間 考 査	第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境[地形・気候] P8~40	新詳地理資料「COMPLETE」 P12~45 「地理統計Plus」 帝国書院	14
	6 7	1 学期 期 末 考 査	第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境[世界各地の自然・生活] [日本の自然環境と防災] [地球環境問題] P42~72	新詳地理資料「COMPLETE」 P46~63 P70~85 「地理統計Plus」 帝国書院	16
	夏休み 宿 題	宿 題 テ ス ト	1 学期の復習 地域区分・地図とGISの理解		
二 学 期	9 10	2 学期 中 間 考 査	第1編 現代世界の系統地理的考察 第2章 資源と産業 P74~120	新詳地理資料「COMPLETE」 P86~183 「地理統計Plus」 帝国書院	18
	10 11	2 学期 期 末 考 査	第1編 現代世界の系統地理的考察 第3章 人・モノ・金のつながり P122~140 第4章 人口・村落・都市 P142~164	新詳地理資料「COMPLETE」 P184~213 「地理統計Plus」 帝国書院	12
	冬休み 宿 題	宿 題 テ ス ト			
三 学 期	1 2	3 学期 学 年 末 考 査	第1編 現代世界の系統地理的考察 第5章 文化と国家 P166~188	新詳地理資料「COMPLETE」 P216~217 「地理統計Plus」 帝国書院	18
				計 78 (2単位)	
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期期末考査の得点とノート、プリント、その他課題を評価の対象とする。 ・評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価(ABC)と5段階の評定によって行う。 ・評価物はいずれも上記の観点別評価で行う。 				

教科名 公民科
 科目名 **公共（必修2単位）**
 対象 5学年全員

I 学習到達目標

- 1 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
- 2 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 3 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 現代の諸課題を捉える視点や枠組み、基本的な概念の理解を図る。
- 2 一斉授業、グループ学習、発表などの学習活動を行い、ものごとを多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を養う。
- 3 資料から適切な情報を選択し、課題を追究する活動、レポート作成や発表活動を行い、課題追究の方法を身につける。

III 教科書・補助教材

教科書 「公共」東京書籍
 補助教材 「2023ズームアップ公共資料」実教出版
 「ニューコンパスノート公共」東京法令出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み	宿 題			
	宿 題	テ ス ト			
	4	1 学期 中 間 考 査	第1部「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己 第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理	(1) 問題集 p. 2-45 (2) 資料集 p. 10-125	1 2
6	1 学期 期 末 考 査	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち 第2章 法の働きと私たち テーマ1 法の規範の意義と役割	(1) 問題集 p. 46-49, 52-65 (2) 資料集 p. 126-169	1 8	
	7				
	夏休み	宿 題	現代の諸課題をめぐるミニレポート		
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	第2章 法の働きと私たち テーマ2 市民生活と司法 テーマ3 国民の司法参加 第3章 経済社会で生きる私たち	(1) 問題集 p. 50-51, 66-109 (2) 資料集 p. 138-145, 170-242, 266-269	1 4
	10	2 学期 期 末 考 査	第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち（前半） テーマ1 国際社会のルールとしくみ テーマ2 国際社会と平和主義	(1) 問題集 p. 94-97, 126-113 (2) 資料集 p. 250-265, 281-295	1 8
	冬休み	宿 題			
三 学 期	1	3 学期 学 年 末 考 査	第5章 国際社会のなかで生きる私たち（後半） テーマ3 国際平和への課題 テーマ4 グローバル化する国際経済 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	(1) 問題集 p. 114-155 (2) 資料集 p. 296-347	1 6
	2				
				計 7 8 (2 単位)	
評 価	各学期の定期考査、及び学習活動の様子や発表、討論、論述の内容、需要についてのリアクションペーパー、ミニレポート（不定期）、現代の諸課題を探究するレポートを評価の対象とし、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の各観点から評価を行う。				

教科名 地歴科
 科目名 日本史B（必修選択）
 対象 6学年（文系） 選択者

I 学習到達目標

- 1 原始・古代から近世までを学習し、日本史の基礎的な知識や理解を確実に身につける。
- 2 史資料の読み取りや問いに対する論述に取り組むことで、日本史を科学的に考察する姿勢や表現力を養う。
- 3 地理的・世界史的な分析を進めることで、日本と世界との関わりについて理解や考察を深める。
- 4 問題演習を通じて、大学入試に対応できる学力を養成する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 教科書に準じたプリントを中心に、プロジェクト資料や板書を併用しながら授業をすすめていく。
- 2 必要に応じて発問や課題、ノート提出などを求め、生徒の理解の定着を確認しつつ、授業を進めていく。
- 3 通史の学習が終了次第、テーマ史学習や入試問題演習を交えた演習授業を行う。

III 教科書・補助教材

教科書：『詳説 日本史B』（山川出版社）
 副教材：『新詳 日本史』（浜島書店）、『詳録 新日本史史料集成』（第一学習社）、『日本史B用語集』（山川出版社）、
 『日本史B一問一答』（東進ブックス）、『スピードマスター日本史問題集』（山川出版社）
 『大学入試共通テスト 実戦問題 パックV 日本史B』（駿台文庫）

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容				授業時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容		副教材・その他の学習内容			
一 学 期	4 5	1 学期 中 間 考 査	第1章 「日本文化のあけぼの」 P8-33	第5章4節 「戦国大名の登場」 第6章1・2節 「織豊政権・桃山文化」 P147-168	『新詳日本史』 P27-49	『新詳日本史』 P150-162	36	
	6 7	1 学期 期 末 考 査	第2章 「律令国家の形成」 P34-67 第3章 「貴族政治と国風文化」 P68-84	第6章3・4節 「幕藩体制の成立」 「幕藩社会の構造」 第7章 「幕藩体制の展開」 P169-217	P50-101	P163-191	54	
	夏休み		夏期講習 基礎復習 共通テスト・2次私大対策					
二 学 期	9 10	2 学期 中 間 考 査	第4章 「中世社会の成立」 P86-119	第8章 「幕藩体制の動揺」 P218-248 「古代の文化」	P102-131	P192-207	42	
	10 11 12	2 学期 期 末 考 査	第5章 「武家社会の成長」 P120-146	「院政期の文化」 「鎌倉文化」 「室町文化」 共通テスト対策演習	P132-149	各該当ページ 『パックV』	54	
	冬休み							
三 学 期	1 2 3		共通テスト対策演習 国公立2次試験・私大個別入試対策演習		『パックV』 志望大学過去問		48	
							計 234 (6単位)	
	評 価	・各学期の定期考査得点の他に、授業の取り組み状況、課題の提出と内容、ノートの提出と内容、小テストの得点等を数値化して評価の対象とする。						

教科名 地理歴史科
 科目名 世界史B（必修選択）
 対象 6学年文系 選択者

I 学習到達目標

- 1 人類の古代史が諸地域の自然環境や各地域間の交渉・交易を通して形成されていく過程を学習する。具体的には西アジアと地中海一帯の関わりとその特質、南アジアと東南アジア地域、東アジアと内陸アジア地域であるが、東アジア史においては特に日本との関わりに留意する。
- 2 ユーラシアの海域や内陸アジア史をネットワークという視点で、イスラーム国家のあり方や中国の朝貢、冊封体制を理解するとともにアジア諸国家の繁栄とその変容についても学ぶ。
- 3 第二次世界大戦後の世界における課題や日本のありかたを環境やエネルギー問題も視野にいれて歴史に学ぶ態度を育てる。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 授業に即したワークシートを使用しながら、授業を進める。
- 2 必要に応じて発問、課題・ノート提出等をもとめ知識の定着を図り、定期考査では実践的な問題にあたる。
- 3 歴史の縦と横の軸を常に意識ながら学習を進めるために補講や講習を実施する。

III 教科書・補助教材

教科書	改訂版 詳説世界史B 山川出版社
補助教材	最新世界史図説タペストリー（帝国書院） 世界史B用語集（山川出版社） 世界史Bマスター問題集（山川出版社） 大学入試共通テスト実戦問題パックV世界史B（駿台文庫）

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容			
一 学 期	春休み	宿 題				
	宿 題	テスト				
	4	1 学期	序章 先史の世界 P10 第1章 オリエンと地中海世界 「古代オリエン」 「ギリシア」 「ローマ」 P16 第2章 アジア・アメリカの古代文明 「インド」 「東南アジア」 「中国」 「アメリカ」 P52 第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 「遊牧世界」 「東アジア文化圏の形成」 P77	タペストリー P54～97 マスター問題集 P4～38	36	
	5	中 間 考 査				
一 学 期	6	1 学期	第4章 イスラーム世界の形成と発展 「イスラーム世界の形成・発展」 「インド・東南アジア・ アフリカのイスラーム化」 P100	タペストリー P124～152 マスター問題集 P42～62	54	
	7	期 末 考 査	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 「西ヨーロッパ世界」 「東ヨーロッパ世界」 「西ヨー ロッパ世界の変容」 「西ヨーロッパ中世文化」 P120			
	夏休み	宿 題	夏期講習 共通テスト対策 難関私大対策 論述対策			
二 学 期	9	2 学期	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 「トルコ化とイスラーム化」 「東アジア諸地域の自立 化」 「モンゴルの大帝国」 P154	タペストリー P98～122 マスター問題集 P64～82	42	
	10	中 間 考 査	第7章 アジア諸地域の繁栄 「東アジア世界の動向」 「清代の中国と隣接地域」 「ト ルコ・イラン世界の展開」 「ムガル帝国」 P178			
	10	2 学期	第15章 冷戦と第三世界の成立 「戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の自立」 「米ソ冷 戦の激化と西欧・日本の経済復興」 「第三世界の台頭 と米・ソの歩み寄り」 「石油危機と世界の再編」 P371	タペストリー P260～298 マスター問題集 P162～182	54	
	11	期 末 考 査	第16章 現在の世界 「社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展」 「途上国の民主化と独裁政権の動揺」 「地域紛争の激化 と深刻化する貧困」 「現代文明の諸特徴」 P397			
三 学 期	12	宿 題				
	1	3 学期	共通テスト直前対策	過去問による演習	48	
	2	学 年 末 考 査	大学別入試対策と論述指導			
					計 234 (6単位)	
評 価	毎学期の中間・期末考査の素点、授業への取り組み（出席・課題、ノートの提出）を総合的に判断して評価する。 各学期10段階評価を行い、学年末に5段階評定を行う。（一学期末仮5段階）					

教科名 地歴科
 科目名 地理B (文系必修選択)
 対象 6学年 (文系) 選択者

I 学習到達目標

- 1 4年次に学習した「自然地理学」基礎とし、大学入試に必要な「自然地理学」の応用力を習得する。
- 2 世界で展開される人文現象の学習を通じて大学入試に必要な「人文地理学」の基礎学力を習得する。
- 3 世界を「地域区分」し、各地域の特色を考察する「地誌」の深い理解を得る。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 「考えること」を重視しつつ、4年次に学習した知識の上に応用力を身につけさせる。
- 2 教科書と補助教材に加えて様々な資料を活用して、複眼的に世界をとらえる能力を身につけさせる。
- 3 大学入試に必要な知識・技能を講義と様々な演習を通して身につけさせる。

III 教科書・補助教材

教科書 「新詳地理B」帝国書院 「新詳高等地図」帝国書院
 補助教材 「新詳地理資料COMPLETE2021」帝国書院 「地理統計要覧2023年版」二宮書店
 「大学入学共通テスト地理B 単元別問題集」駿台文庫 「2023センター試験実戦問題パックV」駿台文庫

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容			
一 学 期	4	1学期 中 間 考 査	第Ⅱ部第1章自然環境「世界の地形」大地形・小地形 P27～45	第Ⅱ部第2章5節 世界の工業 P136～152	36	
	5		第Ⅰ部第1章地理情報と地図「地図の種類とその利用」 P6～21	第Ⅱ部第3章人口、村落・都市「人口問題」 P168～175		
	6 7	1学期 期 末 考 査	「世界の気候」気候の成り立ち・世界の気候区分 P50～75 第Ⅱ部第1章自然環境「日本の自然災害と防災」 P80～81 第Ⅰ部第1章自然環境「環境問題」 P82～93 第Ⅱ部第2章資源と産業「世界の農林水産業」 P94～111	第Ⅱ部第3章人口、村落・都市「都市・居住問題」 P191～200 第Ⅲ部現代世界の地誌的考察「ヨーロッパ」 P277～288 「アングロアメリカ」 P295～307	54	
	夏 期 講 習		演習「自然環境」「農林水産業」「エネルギー・鉱工業」「人口・都市」「宗教・人種・民族」「貿易・観光・交通」			
二 学 期	9 10	2学期 中 間 考 査	第Ⅲ部第2章現代世界の諸地域「東アジア」 P232～246 「東南アジア」 P247～255 「南アジア」 P247～255 「西アジアと中央アジア」 P263～269	第Ⅲ部現代世界の地誌的考察「アフリカ」「ラテンアメリカ」	42	
	10 11 12	2学期 期 末 考 査	第Ⅱ部第1章自然環境「日本の自然の特徴」「日本地誌」 P76～79、324～329 「両極地方」演習 第Ⅱ部第2章資源と産業「第3次産業・行動圏の拡大」 P153～167	第Ⅲ部現代世界の地誌的考察「オセアニア」「ロシア」 弱点分野の問題演習	54	
	1 2 3	3学期 学 年 末 考 査	系統地理と地誌のまとめ 問題演習	過去問題による演習	48	
				計 234 (6単位)		
評 価		各学期定期考査に平常点 (課題提出等) を加味したものを評価の対象とする。 各学期10段階評価と5段階評定を行う。				

教科名 地歴科
 科目名 地理B（理系必修選択地理B・文系自由選択地理B）
 対象 6学年 選択者

I 学習到達目標

- 1 4年次に学習した「自然地理学」を基礎とし、産業分野への基礎学力を習得する。
- 2 世界で展開される人文現象の学習を通じて大学入試に必要な「人文地理学」の基礎学力を習得する。
- 3 世界を「地域区分」し、各地域の特色を考察する「地誌」の深い理解を得る。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 「考えること」を重視しつつ、4年次に学習した知識の上に応用力を身につけさせる。
- 2 教科書と補助教材に加えて様々な資料を活用して、複眼的に世界をとらえる能力を身につけさせる。
- 3 大学入試に必要な知識・技能を講義と様々な演習を通して身につけさせる。

III 教科書・補助教材

教科書 「新詳地理B」帝国書院 「新詳高等地図」帝国書院
 補助教材 「新詳地理資料COMPLETE2021」帝国書院 「地理統計要覧2023年版」二宮書店
 「大学入学共通テスト地理B 単元別問題集」駿台文庫

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	4	1 学期 中 間 考 査	第Ⅱ部第2章5節 世界の工業 P136～152	「地理B 単元別問題集」 P76～81、97～102	6
	5		第Ⅱ部第3章人口、村落・都市「人口問題」 P168～175		6
	6 7	1 学期 期 末 考 査	第Ⅱ部第3章人口、村落・都市「都市・居住問題」 P191～200 第Ⅲ部現代世界の地誌的考察 「ヨーロッパ」P277～288 「アングロアメリカ」P295～307	「地理B 単元別問題集」 P82～96、128～144	6 8 6
	夏 期 講 習		演習「自然環境」「農林水産業」「エネルギー・鉱工業」「人口・都市」「宗教・人種・民族」「貿易・観光・交通」「アジア地誌」		
二 学 期	9 10	2 学期 中 間 考 査	第Ⅲ部現代世界の地誌的考察 「アフリカ」 「ラテンアメリカ」	「地理B 単元別問題集」 P114～119、141～144	6 6
	10 11	2 学期 期 末 考 査	第Ⅲ部現代世界の地誌的考察 「オセアニア」 「ロシア」	地理B 単元別問題集 P132～135、145～152	6 6
	12		弱点分野の問題演習		6
	冬 期 講 習		弱点分野の問題演習（個別対応）	過去問題による演習	
三 学 期	1 2 3	3 学期 学 年 末 考 査	弱点分野の問題演習 問題演習	過去問題による演習	16
					計 78 (2単位)
評 価	各学期定期考査に平常点（課題提出等）を加味したものを評価の対象とする。 各学期10段階評価と5段階評定を行う。				

教科名 公民科
 科目名 **政治経済** (必修選択)
 対象 6学年 選択者

I 学習到達目標

- 1 民主政治の基本原則とその重要性を理解し、現在における民主政治の課題を追究し考察できる力を培う。
- 2 日本国憲法を尊重し、よりよい国家・社会の形成者として行動するための公民的資質を養う。
- 3 日本の政治のしくみや現代政治の諸課題を理解し、日本国民としての責任と自覚に対する認識を深める。
- 4 現代社会の諸課題(国際政治・国際経済)についての問題意識を高め、論理的な解決方法を思索できる思考力を培う。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 政治や経済の基礎的事項・概念・理論に対する理解を、講義・協働学習・演習により定着・深化させる。
- 2 政治や経済にかかわる現代の諸課題について、知識・概念・理論を活用して論理的に思考する力を養うため、単元ごとの課題学習 (ミニレポート) に課す。
- 3 経済分野の学習を先に行う。政治分野については2学期以降に学習するが、夏期講習において先取りの講習を行う。

III 教科書・補助教材

教科書 「高校政治・経済」 実教出版
 補助教材 「最新政治・経済資料集 2023」 第一学習社
 補助教材 「4ステージ演習ノート政治・経済」 数研出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	なし			
	4 5	1 学期 中 間 考 査	第2編 現代の経済 第1章 「経済社会の変容」 P110～118 第2章 「現代経済のしくみ」 P119～146	資料集: P186～240 問題集:P70～89 配付プリントによる問題演習	12	
	6 7	1 学期 期 末 考 査	第3章 「現代経済と福祉の向上」 P147～185 第4章 「世界経済と日本」 P186～213	資料集: P241～351 問題集:P90～133 配付プリントによる問題演習	18	
	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	・共通テスト対策中心の夏期講習を行う。			
二 学 期	9 10	2 学期 中 間 考 査	第1編 現代の政治 第1章 「民主政治の基本原則」 P4～19 第2章 「日本国憲法の基本的性格」 P20～52	資料集:P6～92 問題集:P2～21 配付プリントによる問題演習	12	
	10 11 12	2 学期 期 末 考 査	第3章 「日本の政治機構」 P53～73 第4章 「政治参加と民主政治の課題」 P74～83 第5章 「現代の国際政治」 P84～92	資料集:P93～185 問題集:P22～67 配付プリントによる問題演習	18	
	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	なし			
三 学 期	1 2 3	3 学期 学 年 末 考 査	総合演習(過去問など)	センター試験・共通テストの過去問及び分析に基づいた予想問資料集全般	18	
					計 78 (2単位)	
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期の定期考査100点×2回に平常点(授業への参加度、出席、課題提出など)を加味し評価する。なお、平常点の中に「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「知識・理解・技能」の観点別の評価を含むものとする。 ・各学期10段階評価を行い、学年末に5段階評定を行う。 ・自選政治経済受験者の評価方法 科目政治経済、科目自選政治経済として各学期に10段階評価を行い、学年末に科目政治経済、科目自選政治経済と総合(合算)して、政治経済としての5段階の評定を行う。 				

教科名 公民科
 科目名 **政治・経済** (自由選択)
 対象 6学年 選択者

I 学習到達目標

- 1 平和で民主的な国家・社会の形成者として、よりよい暮らしを確立するための意識を高める。
- 2 政治や経済について、大学入試に対応する力を身につける。
- 3 時事問題や現代社会の諸課題についての問題意識を高め、解決方法を思索できる思考力を培う。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 政治や経済の基礎的事項・概念・理論に対する理解を、講義・演習により定着・深化させる。
- 2 政治や経済にかかわる現代の諸課題について、知識・概念・理論を活用して論理的に思考する力を養う。
- 3 政治分野の学習を先に行う。必修選択の政治経済で学んだ分野の問題演習も併せて行い、共通テストに対応できる力を養う。

III 教科書・補助教材

教科書 「高校政治・経済」実教出版
 補助教材 「最新政治・経済資料集 2023」第一学習社
 補助教材 「4ステージ演習ノート政治・経済」数研出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	なし		
	4	1 学期 中 間 考 査	第1編 現代の政治 第1章 「民主政治の基本原則」 P4～19 第2章 「日本国憲法の基本的性格」 P20～52	資料集:P6～92 問題集:P2～21 配付プリントによる問題演習	12
	6	1 学期 期 末 考 査	第2章 「日本国憲法の基本的性格」 P20～52	問題集:P2～21 配付プリントによる問題演習	18
	7				
	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	・共通テスト対策中心の夏期講習を行う。 ・夏休みのレポートを課すことが場合によってはある。		
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	第3章 「日本の政治機構」 P53～73 第4章 「政治参加と民主政治の課題」 P74～83	資料集:P93～185 配付プリントによる問題演習	12
	10	2 学期 期 末 考 査	第5章 「現代の国際政治」 P84～92	問題集:P22～67 配付プリントによる問題演習	18
	11 12				
	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	なし		
三 学 期	1	3 学期 学 年 末 考 査	総合演習(過去問など) ・時事問題を取り上げながら、大学入試問題の演習を行う。	センター試験・共通テストの過去問及び分析に基づいた予想問 資料集全般	18
	2				
	3				
				計 78 (2単位)	
評 価	1 各学期考査を基本として、プリント提出、作業課題などを加味したものが評価の対象となる。 2 各学期10段階評価を行い、学年末に5段階の評価を行う。 3 自選政治経済受験者の評価方法 科目政治経済、科目自選政治経済として各学期に10段階評価を行い、学年末に科目必修選択政治経済、科目自選政治経済と総合(合算)して、政治経済としての5段階の評定を行う。				

教科名 公民科
 科目名 **倫理** (自由選択)
 対象 6学年 選択者

I 学習到達目標

- 1 人間の在り方生き方を主体(自己)との関わりから考えることができる。
- 2 自らの体験や悩みを振り返ることから課題を見だし、それに基づいて青年期の意義と課題を多面的・多角的に考察し、豊かな自己形成に向けて探究できる。
- 3 人間としての在り方生き方について、代表的な先哲の思想や芸術家とその作品を手掛かりとして主体的かつ公正に判断できる。
- 4 日本にみられる人間観・自然観・宗教観などの特質について、自己形成の課題とつなげて、多面的・多角的に考察できる。
- 5 「人間の尊厳と生命への畏敬」や「自然と科学技術と人間とのかかわり」について人格形成に寄与する知識として身につけている。
- 6 現代の諸事象について、倫理的視点から主体的に課題を見だし、探究できる。

II 授業の進め方(授業形態等)

- 1 倫理にかかわる基礎的事項・概念・理論に対する理解を、講義・協働学習・演習により定着・深化させる。
- 2 倫理にかかわる現代の諸課題について、知識・概念・理論を活用して論理的に思考する力を養うため、單元ごとの課題学習(ミニレポート)に課す。
- 3 源流思想・西洋思想の学習を先に行う。日本思想・青年期・現代の倫理的課題については夏期講習で学習の先取りを行う。

III 教科書・補助教材

教科書:「新倫理 改訂版」清水書院
 補助教材:「倫理資料集 新訂第二版」清水書院
 補助教材:「進研ウィンステップ」ラーンズ

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	なし		
	4 5	1 学期 中 間 考 査	第2編 人間としての自覚と生き方 P22～77 第1章 人生における哲学 P22～ 第2章 人生における宗教 P38～ 第3章 人生の知恵 P61～ 第4章 人生における芸術 P70～	資料集: P20～81 問題集:P12～41 配付プリントによる問題演習	12
	6 7	1 学期 期 末 考 査	第3編 現代社会と倫理 P78～141 第1章 現代の倫理的課題 P78～ 第2章 現代に生きる人間の倫理 P82～	資料集: P163～267 問題集:P42～85 配付プリントによる問題演習	18
	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	・共通テスト対策中心の夏期講習を行う。		
二 学 期	9 10	2 学期 中 間 考 査	第4編 国際社会に生きる日本人の自覚 P142～193 第1章 日本の風土と外来思想の受容 P142～ 第2章 現代の日本と日本人としての自覚 P190～	資料集: P82～162 問題集:P86～117 配付プリントによる問題演習	12
	10 11 12	2 学期 期 末 考 査	第5編 現代の諸課題と倫理 P194～219 第1章 生命と倫理 P194～ 第2章 環境と倫理 P199～ 第3章 現代の家族とその課題 P204～ 第4章 地域社会の変容と共生 P207～ 第5章 情報社会とその課題 P210～ 第6章 グローバル化の時代と倫理 P214～ 第7章 人類の福祉と国際平和 P217～ 第1編 現代に生きる自己の課題 P6～21 第1章 人間とは何か P6～ 第2章 青年期の課題と自己形成 P9～	資料集: P6～19, P268～291 問題集:P4～11, P118～137 配付プリントによる問題演習	18
		冬休み 宿 題	宿 題 テスト	なし	
三 学 期	1 2 3	3 学期 学 年 末 考 査	総合演習(過去問など)	センター試験・共通テストの過去問及び分析に基づいた予想問資料集全般	18
				計 78 (2単位)	
評 価	1	各学期考查を基本として、レポートやリアクションペーパーの内容・提出状況などを加味したものが評価の対象となる。			
	2	各学期10段階評価を行い、学年末に5段階の評価を行う。			